2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月25日

文化シヤッター株式会社

目　次

P1 **2021年3月期 第２四半期の実績について**
P2　事業環境
P3　業績
P4　売上高および営業利益の増減要因
P5　セグメント別売上高および営業利益
P6　売上高の用途別セグメント別分析

P7 **2021年3月期の見通しについて**
P8　事業環境予想
P9　業績見通し
P10 売上高および営業利益の増減要因
P11 セグメント別状況

P12 **重点施策の進捗状況について**
P13 基幹事業の拡大① シャッター事業の強化
P14 基幹事業の拡大② ドア・パーティション事業の強化
P15 注力事業の強化① エコ＆防災事業の強化
P16 注力事業の強化② メンテナンス事業の強化
P17 注力事業の強化③ ロングライフ事業の強化
P18 注力事業の強化④ 海外事業の強化

P19 **トピックス**
P20 トピックス　新商品

P21 **参考資料**
P22 文化シヤッターグループ概要
P23 文化シヤッターグループのセグメント別会社構成と海外事業展開
P24 連結貸借対照表
P25 連結キャッシュフロー計算書
P26 シャッター関連製品の状況（単体）（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）
P27 建材関連製品の状況（単体）（ドア、パーティション、エクステリア）
P28 持続可能な社会の実現をめざして ～ＳＤＧｓの理念と連動した事業を推進中 ～

2021年3月期 第2四半期の実績について

事業環境

	2019年3月期上期		2020年3月期上期		2021年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
民間企業設備投資（兆円）	40.0	101.8%	41.2	103.0%	37.5	91.0%
新設住宅着工戸数（万戸）	49.1	98.9%	46.6	95.0%	41.4	88.7%
非住宅着工床面積（万㎡）	2,696	96.5%	2,582	95.8%	2,337	90.5%
工　場（万㎡）	564	119.7%	428	75.9%	323	75.4%
倉　庫（万㎡）	426	84.8%	509	119.5%	621	121.9%
医療・福祉（万㎡）	241	75.7%	301	125.0%	249	82.6%
店　舗（万㎡）	292	95.6%	232	79.7%	181	77.7%
事務所（万㎡）	331	97.3%	332	100.4%	317	95.4%

2021年3月期上期の民間企業設備投資は速報値

◆ 経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業活動や個人消費が停滞したことで景気回復の足取りは鈍くなっており、依然として先行きは不透明な状況が続いている。

◆ 民間企業設備投資（実質GDP）の速報値では、前年同期比9.0%減の37兆5,000億円で推移。
新設住宅着工戸数は、前年同期比11.3%減の41万4,000戸、非住宅着工床面積（建築確認申請時点）は、倉庫が増加したものの、工場、医療・福祉、店舗、事務所が軒並み減少したことで、前年同期比9.5%減の2,337万㎡と、それぞれ前年を下回った。

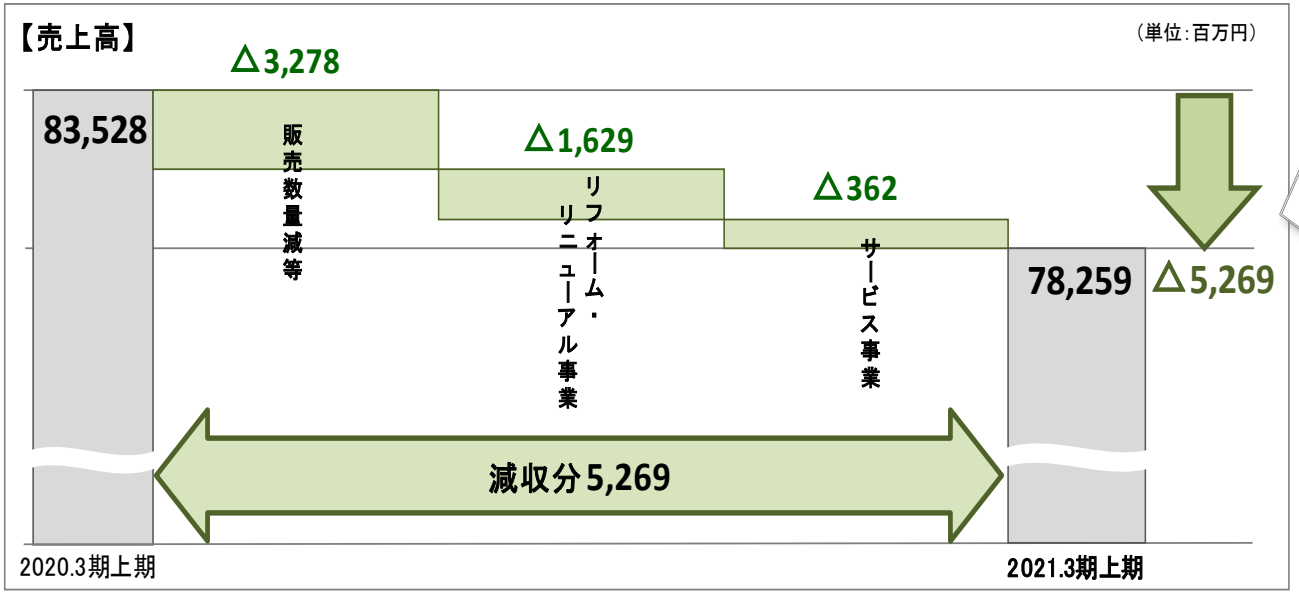
業績

（単位：百万円）

		2020年3月期上期		2021年3月期上期		
		実績	売上比	実績	売上比	伸率
売上高		83,528	100.0%	**78,259**	100.0%	93.7%
売上原価		61,686	73.9%	**57,545**	73.5%	93.3%
売上総利益		21,842	26.1%	**20,713**	26.5%	94.8%
販売費及び一般管理費		18,906	22.6%	**17,779**	22.8%	94.0%
営業利益		2,935	3.5%	**2,933**	3.7%	99.9%
経常利益		2,674	3.2%	**3,330**	4.3%	124.5%
当期純利益		1,570	1.9%	**1,874**	2.4%	119.4%
1株当たり配当金		12.5円		**12.5円**		－
設備投資額		2,093		**1,524**		72.8%
減価償却費		2,170		**2,081**		95.9%
期末従業員（人）	正社員	4,792		**4,825**		33
	臨時雇用者	1,220		**1,264**		44
	合計	6,012		**6,089**		77

- 「売上高」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う受注活動の制限などが影響し、前年同期比マイナス6.3%の減収。
- 「営業利益」は、シャッター群の販売価格引き上げとドア・パーティション群の採算性向上、さらには販管費の減少等により、前年同期並に推移。
- 「売上高営業利益率」は3.7%と、前年同期比0.2%アップ。
- 「設備投資額」約15億円の主な内訳は、
  ・設備の合理化・更新他で約13億円
  ・子会社の建屋修繕費等で約2億円
- 「1株当たり配当金」は12.5円。

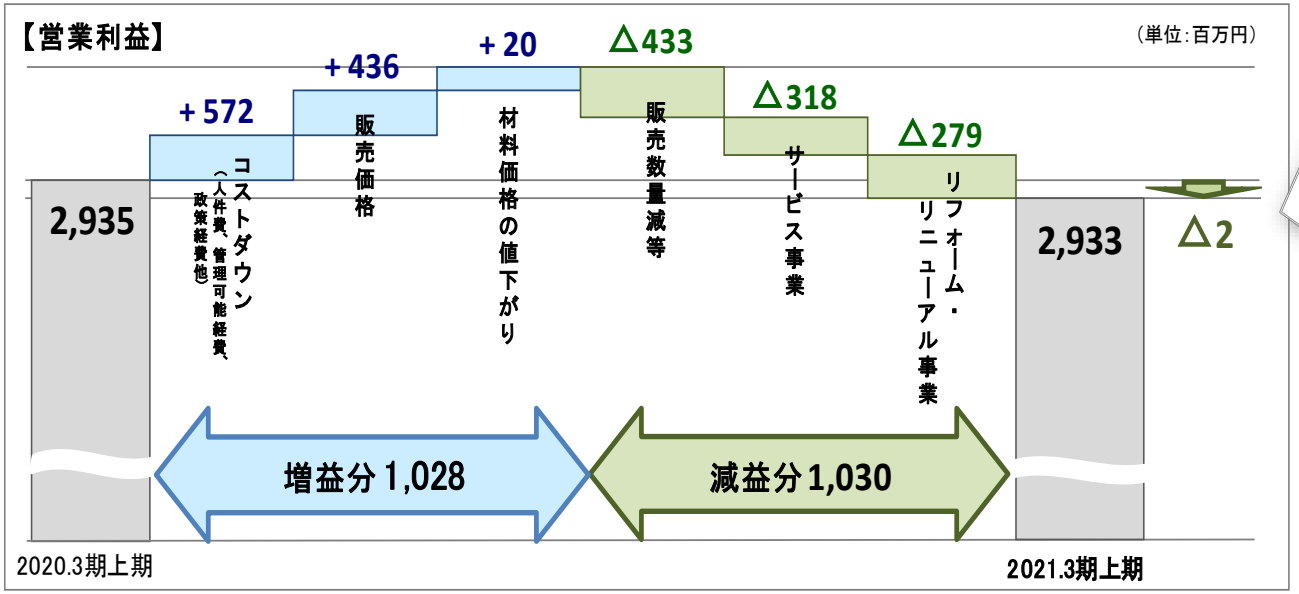
売上高および営業利益の増減要因



◆「売上高」の増減要因

主な減収要因は、「販売数量の減少」、「リフォーム・リニューアル事業」、「サービス事業」が影響。

トータルで52億6,900万円の「減収」。



◆「営業利益」の増減要因

主な増益要因として、人件費や管理可能経費、政策経費などの減少に伴う「コストダウン」、「販売価格アップ」、「材料価格の値下がり」が寄与。

主な減益要因は、「販売数量の減少」、「サービス事業」、「リフォーム・リニューアル事業」が影響。

トータルで200万円の「減益」。

セグメント別売上高および営業利益

（単位：百万円）

	2020年3月期上期		2021年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	31,245 (28,200)	2,733 (2,100)	**29,383** (－)	**2,835** (－)
伸率	118.3%	121.4%	94.0%	103.7%
増減	4,839	482	△ 1,861	102
建材関連製品事業	34,571 (34,300)	22 (200)	**32,812** (－)	**338** (－)
伸率	108.9%	－	94.9%	－
増減	2,826	100	△ 1,758	316
サービス事業	11,193 (10,950)	1,723 (1,200)	**10,831** (－)	**1,405** (－)
伸率	113.3%	161.5%	96.8%	81.5%
増減	1,317	656	△ 362	△ 318
リフォーム事業	3,853 (3,550)	86 (20)	**2,224** (－)	**△ 193** (－)
伸率	125.0%	－	57.7%	－
増減	772	139	△ 1,629	△ 279
その他事業	2,665 (2,000)	299 (120)	**3,007** (－)	**423** (－)
伸率	149.5%	288.5%	112.8%	141.5%
増減	882	195	342	124
配賦不能額	－	1,929 (1,640)	－	1,876 (－)
合計	83,528 (79,000)	2,935 (2,000)	**78,259** (－)	**2,933** (－)
伸率	114.6%	171.4%	93.7%	99.9%
増減	10,638	1,223	△ 5,269	△ 2

（ ）は期初予想数字

- 「シャッター関連製品事業」は、主に工場向けの重量シャッター群が低調に推移したものの、販売価格の引き上げ効果により、「減収増益」。
- 「建材関連製品事業」は、オフィスビル向けのドアが好調に推移した一方で、住宅向けの建材関連製品が低調に推移したものの、ドア・パーティション群の採算性向上により、「減収増益」。
- 「サービス事業」は、災害対応をはじめとするシャッターの修理売上と、法定点検を含めた保守点検契約が低調に推移したことにより、「減収減益」。
- 「リフォーム事業」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、主に住宅リフォーム事業における受注件数が減少したことで、「減収減益」。
- 「その他事業」は、主に浸水対策商品を取り扱う止水事業が好調に推移したことにより、「増収増益」。

売上高の用途別セグメント別分析

（単位：億円）

製品・事業群＼用途		合計	工場・倉庫	オフィスビル・公共施設	医療福祉・学校	商業施設	住宅その他
増　収　額		△ 52.7	△ 18.1	25.0	△ 10.3	△ 3.1	△ 46.2
売　上　高		782.6	177.0	127.4	61.3	51.1	365.8
シャッター関連製品事業計	増収額	△ 18.6	△ 12.9	2.5	△ 3.3	△ 1.6	△ 3.3
	売上高	293.9	107.6	30.2	6.4	19.8	129.9
軽量シャッター群	増収額	△ 4.2	△ 1.6	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.2	△ 1.5
	売上高	82.0	32.4	6.2	0.9	5.8	36.7
重量シャッター群(※)	増収額	△ 15.6	△ 10.5	2.2	△ 2.1	△ 1.5	△ 3.7
	売上高	154.2	62.6	17.8	3.4	9.4	61.0
窓シャッター群	増収額	1.2	－	－	－	－	1.2
	売上高	26.4	－	－	－	－	26.4
シャッター関連群	増収額	0.0	△ 0.8	0.9	△ 0.9	0.1	0.7
	売上高	31.3	12.6	6.2	2.1	4.6	5.8
建材関連製品事業計	増収額	△ 17.6	△ 5.4	16.6	△ 7.3	0.6	△ 22.1
	売上高	328.1	33.9	61.6	43.1	15.3	174.2
エクステリア群	増収額	△ 5.7	－	－	－	－	△ 5.7
	売上高	36.6	－	－	－	－	36.6
ドア・パーティション群	増収額	0.3	△ 5.4	16.6	△ 7.3	0.6	△ 4.2
	売上高	209.3	33.9	61.6	43.1	15.3	55.4
その他建材製品群	増収額	△ 12.2	－	－	－	－	△ 12.2
	売上高	82.2	－	－	－	－	82.2
サービス事業計	増収額	△ 3.6	△ 0.3	△ 1.3	△ 0.7	△ 0.1	△ 1.2
	売上高	108.3	30.1	25.6	9.5	12.9	30.2
リフォーム事業計	増収額	△ 16.3	－	－	－	－	△ 16.3
	売上高	22.2	－	－	－	－	22.2
その他事業計	増収額	3.4	0.5	7.2	1.0	△ 2.0	△ 3.3
	売上高	30.1	5.4	10.0	2.3	3.1	9.3

※シャッター関連製品事業の「重量シャッター群」は、重量シャッターの他、オーバースライディングドア、高速シートシャッターの売上を含んでいます。

- 用途別増収額をみると、「オフィスビル・公共施設」のみ「増収」。
- 「工場・倉庫」向けは、工場向けの重量シャッター群が減少したことにより、18億1,000万円の「減収」。
- 「オフィスビル・公共施設」向けは、ドア群が牽引し、25億円の「増収」。
- 「医療福祉・学校」向けは、主にドア・パーティション群が減少したことにより、10億3,000万円の「減収」。
- 「商業施設」向けは、主に重量シャッター群が減少したことにより、3億1,000万円の「減収」。
- 「住宅その他」向けは、建材関連製品事業が大幅に減少したことにより、46億2,000万円の「減収」。

2021年3月期の見通しについて

事業環境予想

【事業環境】	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
民間企業設備投資（兆円）	85.7	101.8%	85.5	99.7%	**80.4**	94.0%
新設住宅着工戸数（万戸）	95.2	100.7%	88.3	92.7%	**79.7**	90.3%
非住宅着工床面積（万㎡）	5,101	95.7%	4,797	94.0%	**4,303**	89.7%
工　場（万㎡）	1,009	109.8%	773	76.6%	**582**	75.3%
倉　庫（万㎡）	876	88.6%	1,002	114.4%	**1,204**	120.2%
医療・福祉（万㎡）	517	82.8%	555	107.3%	**458**	82.6%
店　舗（万㎡）	521	94.3%	415	79.6%	**332**	80.1%
事務所（万㎡）	608	91.1%	652	107.2%	**585**	89.7%

（一財）建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期上期
住宅向け	40.4%	37.3%	**37.1%**
非住宅向け	59.6%	62.7%	**62.9%**

- 経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による世界経済の減速と先行きの不透明感がより一層高まるものと予想。
  国内においても、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、雇用情勢の悪化等により、先行きは不透明な状況が続くものと予想。

- 民間設備投資（実質GDP）は、前期比6.0%減の80兆4,000億円を予想。
  新設住宅着工戸数は、前期比9.7%減の79万7,000戸を予想。
  非住宅着工床面積は、引き続き大型物流倉庫の堅調な増加が見込まれるものの、その他の用途については減少傾向が続く見込みから、前期比10.3%減の4,303万㎡で推移すると予想。

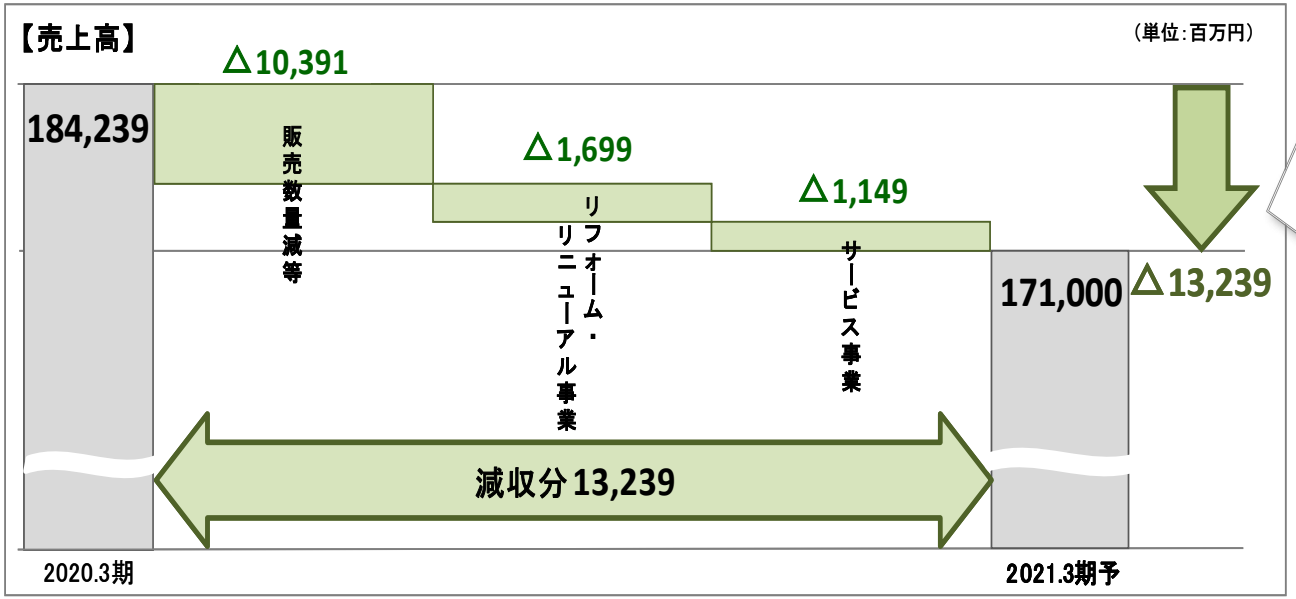
業績見通し

（単位：百万円）

		2020年3月期		2021年3月期			
		通期実績	売上比	通期予想	売上比	前期比 伸率	前期比 増減
売上高		184,239	100.0%	*171,000*	100.0%	92.8%	△ 13,239
売上原価		136,938	74.3%	*127,800*	74.7%	93.3%	△ 9,138
売上総利益		47,301	25.7%	*43,200*	25.3%	91.3%	△ 4,101
販売費及び一般管理費		37,815	20.5%	*35,800*	21.0%	94.7%	△ 2,015
営業利益		9,485	5.2%	*7,400*	4.3%	78.0%	△ 2,085
経常利益		10,003	5.4%	*8,500*	5.0%	85.0%	△ 1,503
当期純利益		6,603	3.6%	*5,500*	3.2%	83.3%	△ 1,103
1株当たり配当金		25円		*25円*		–	–
設備投資額		3,968		*3,000*		–	△ 968
減価償却費		4,551		*4,500*		–	△ 51
期末従業員（人）	正社員	4,782		*4,820*		–	38
	臨時雇用者	1,218		*1,260*		–	42
	合計	6,000		*6,080*		–	80

- 企業の設備投資の抑制に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響等により、売上高は前期比7.2%減の1,710億円、営業利益は前期比22.0%減の74億円を予想。
- 「設備投資額」約30億円の主な内訳は、
  ・設備の合理化・更新他で約26億円
  ・研修施設の建替他で約4億円
- 「1株当たり配当金」は上期12.5円、下期12.5円の通期25円を予定。

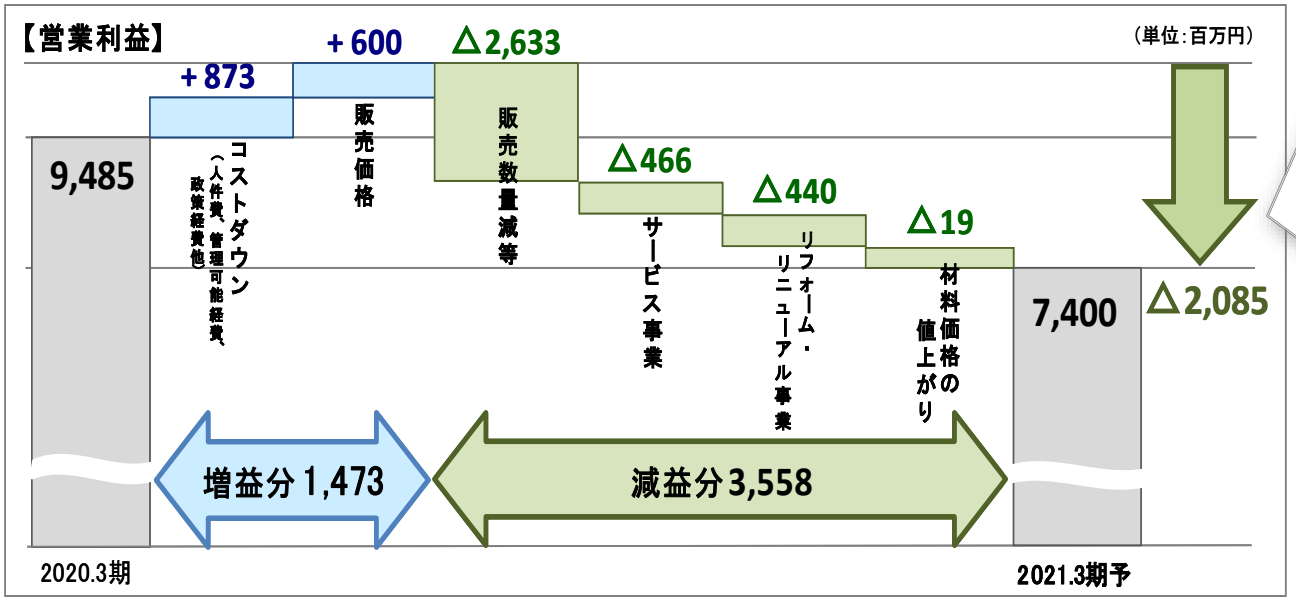
売上高および営業利益の増減要因



◆「売上高」の増減要因

主な減収要因は、「販売数量の減少」「リフォーム・リニューアル事業」、「サービス事業」が影響。

トータルで132億3,900万円の「減収」を見込む。



◆「営業利益」の増減要因

主な増益要因として、人件費や管理可能経費、政策経費などの減少に伴う「コストダウン」、「販売価格アップ」が寄与。

主な減益要因は、「販売数量の減少」、「サービス事業」、「リフォーム・リニューアル事業」が影響。

トータルで20億8,500万円の「減益」を見込む。

セグメント別状況

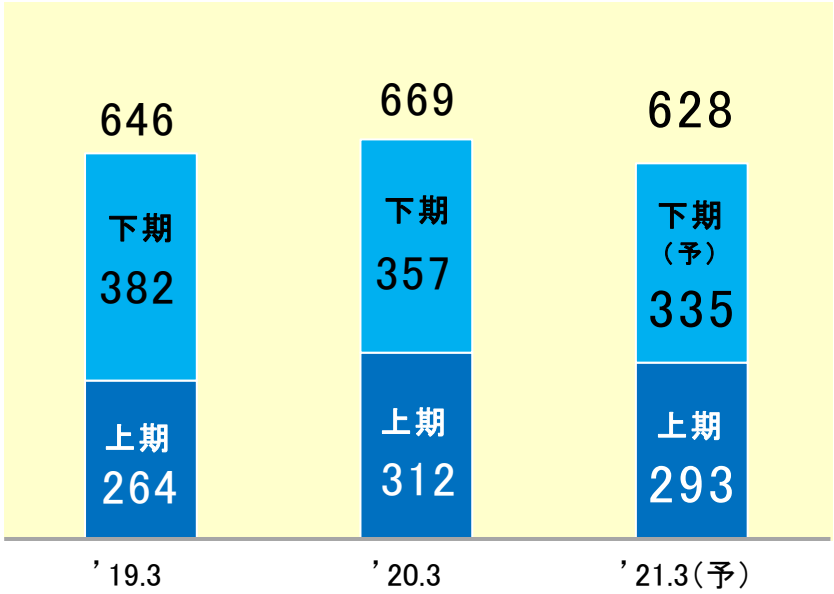
（単位：百万円）

【売上高】	2020年3月期 上期実績	伸率	増減	通期実績	伸率	増減	2021年3月期 上期実績	伸率	増減	通期予想	伸率	増減
シャッター関連事業	31,245	118.3%	4,839	66,983	103.7%	2,375	29,383	94.0%	△ 1,861	62,820	93.8%	△ 4,163
建材関連事業	34,571	108.9%	2,826	79,401	105.1%	3,850	32,812	94.9%	△ 1,758	72,250	91.0%	△ 7,151
サービス事業	11,193	113.3%	1,317	25,249	107.5%	1,771	10,831	96.8%	△ 362	24,100	95.4%	△ 1,149
リフォーム事業	3,853	125.0%	772	7,099	102.1%	144	2,224	57.7%	△ 1,629	5,400	76.1%	△ 1,699
その他事業	2,665	149.5%	882	5,505	135.3%	1,436	3,007	112.8%	342	6,430	116.8%	925
合計	83,528	114.6%	10,638	184,239	105.5%	9,577	78,259	93.7%	△ 5,269	171,000	92.8%	△ 13,239
【営業利益】												
シャッター関連事業	2,733	121.4%	482	7,165	91.0%	△ 707	2,835	103.7%	102	5,800	80.9%	△ 1,365
建材関連事業	22	－	100	804	69.6%	△ 351	338	－	316	700	87.0%	△ 104
サービス事業	1,723	161.5%	656	4,466	116.2%	623	1,405	81.5%	△ 318	4,000	89.6%	△ 466
リフォーム事業	86	－	139	90	104.8%	4	△ 193	－	△ 279	△ 350	－	△ 440
その他事業	299	288.5%	195	718	311.0%	487	423	141.5%	124	1,000	139.2%	282
配賦不能額	1,929	122.3%	352	3,759	111.0%	373	1,876	97.2%	△ 53	3,750	99.8%	△ 9
合計	2,935	171.4%	1,223	9,485	96.8%	△ 315	2,933	99.9%	△ 2	7,400	78.0%	△ 2,085
【受注残高】												
シャッター関連事業	26,742	99.2%	△ 216	24,211	96.3%	△ 918	27,426	102.6%	684	23,600	97.5%	△ 611
建材関連事業	45,006	101.1%	487	37,654	97.7%	△ 894	42,452	94.3%	△ 2,553	37,600	99.9%	△ 54
サービス事業	3,715	104.9%	173	3,023	103.2%	94	3,650	98.3%	△ 64	3,000	99.2%	△ 23
リフォーム事業	960	64.5%	△ 529	720	65.6%	△ 378	794	82.7%	△ 166	1,000	138.9%	280
その他事業	2,792	216.4%	1,501	2,021	81.0%	△ 473	3,263	116.9%	471	2,800	138.5%	779
合計	79,217	101.8%	1,417	67,631	96.3%	△ 2,569	77,587	97.9%	△ 1,629	68,000	100.5%	369
【受注高】												
シャッター関連事業	32,857	104.4%	1,376	66,065	97.4%	△ 1,789	32,598	99.2%	△ 259	62,208	94.2%	△ 3,857
建材関連事業	41,028	101.4%	570	78,507	100.3%	213	37,610	91.7%	△ 3,418	72,195	92.0%	△ 6,312
サービス事業	11,980	105.6%	632	25,343	104.1%	1,007	11,458	95.6%	△ 521	24,076	95.0%	△ 1,267
リフォーム事業	3,715	100.6%	23	6,721	93.7%	△ 453	2,297	61.8%	△ 1,417	5,679	84.5%	△ 1,042
その他事業	2,963	130.4%	691	5,032	87.3%	△ 730	4,250	143.4%	1,287	7,208	143.2%	2,176
合計	92,544	103.7%	3,294	181,670	99.0%	△ 1,752	88,215	95.3%	△ 4,329	171,368	94.3%	△ 10,302

重点施策の進捗状況について

基幹事業の拡大①　シャッター事業の強化

「シャッター事業」売上高（億円）



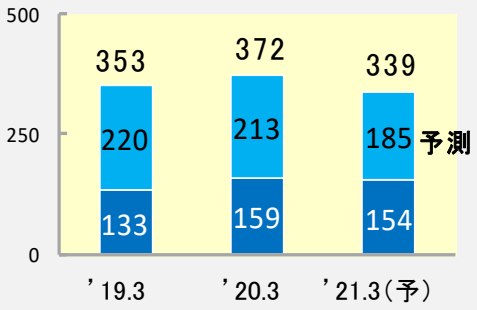
◆シャッター事業（※1）

・上期は、大型物流倉庫向け重量シャッターが堅調に推移した一方で、工場向けが減速。軽量シャッターは工場と住宅向けが減少した結果、売上高は前年同期比19億円減の293億円。

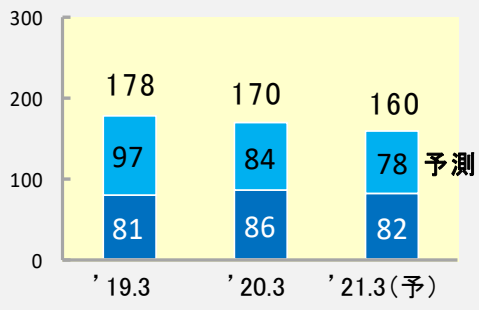
・通期は、底堅く推移する見通しの大型物流倉庫や再開発物件向け重量シャッターの受注拡大に注力することで、売上高は前期比41億円減の628億円を見込む。

※1 シャッター事業は、セグメント区分の「シャッター関連製品事業」と同じ内容です。

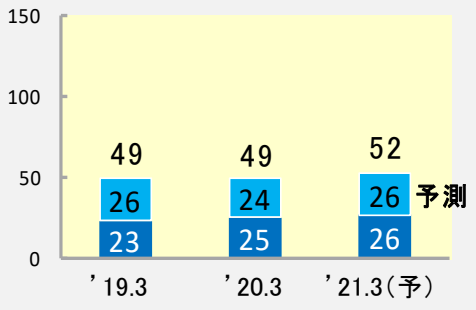
「重量シャッター群（※2）」売上高



「軽量シャッター群」売上高



「窓シャッター群」売上高



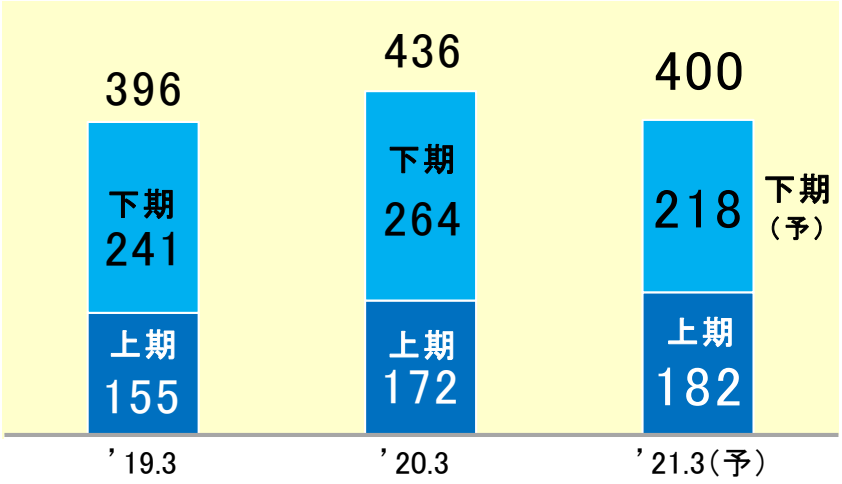
※2 重量シャッター群はオーバースライディングドアと高速シートシャッター他を含む



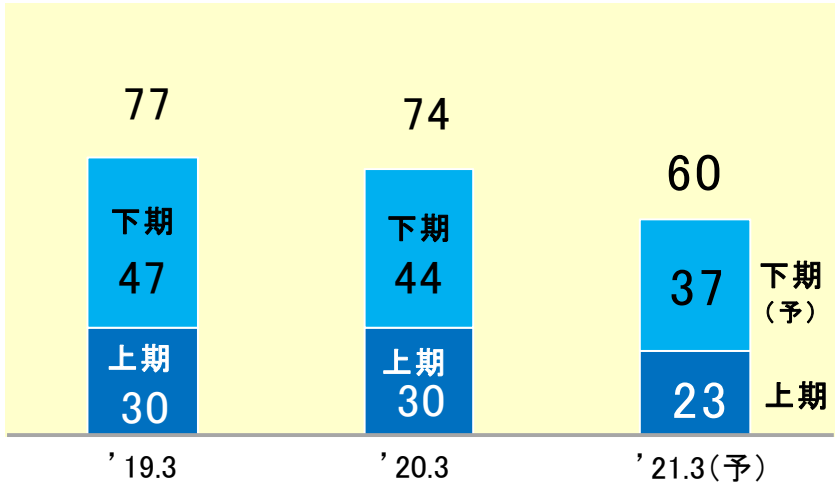
特定防火設備として物流倉庫等に設置された重量（防火）シャッター

基幹事業の拡大②　ドア・パーティション事業の強化

「ドア事業」売上高（億円）



「パーティション事業」売上高（億円）



◆ドア・パーティション事業（※）

・上期のドア事業は、再開発に伴うオフィスビル向けが好調に推移し、売上高は前年同期比10億円増の182億円。
パーティション事業は、主に学校施設向けが低調に推移し、売上高は前年同期比7億円減の23億円。

・市場は、都市圏を中心とする再開発物件を中心に底堅く推移する見通しの一方で、医療施設など非住宅向けの需要回復が鈍化傾向にある。

・この市場動向を背景に、通期のドア事業の売上高は前期比36億円減の400億円、パーティション事業の売上高は同14億円減の60億円を見込む。

そして、更なる採算性向上を図るために、ドア枠の無溶接工法「スマートアンカー」の対応促進と、震災時にも扉を開放して安全に避難できる地震動対策化を図ったドア・パーティション製品の機能強化を推し進める。

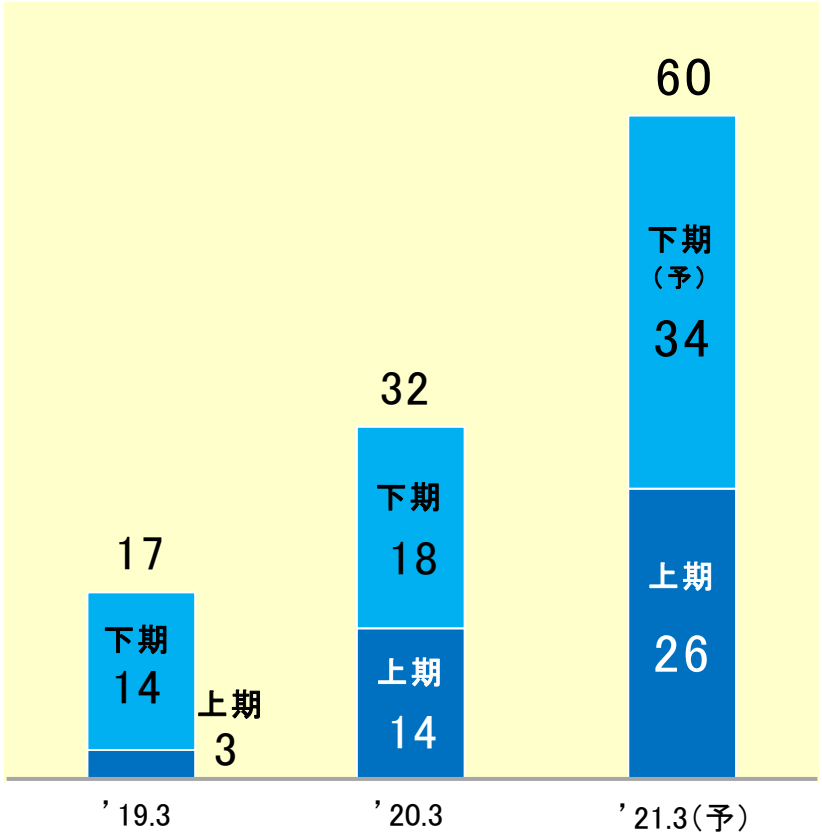
※ドア事業は、海外事業とメンテナンス事業を除いているため、「売上高の用途別セグメント別分析」の「ドア・パーティション群」の売上高とは差違が生じます。



耐震試験装置を活用して地震動対策化を図った「学校用間仕切」

注力事業の強化①　エコ＆防災事業の強化

「エコ＆防災事業」売上高（億円）



◆エコ＆防災事業（※）

・上期は、好調に推移した浸水対策を推し進める止水事業（防災事業）と、新たに加えた省エネ効果の高い日よけ製品「オーニング」(エコ事業)が堅調に推移した結果、売上高は前年同期比12億円増の26億円。

・通期は、防災事業の要である止水事業と、エコ事業の柱として環境負荷の軽減に貢献する再生複合材「テクモク」と「オーニング」の拡販を推し進めることで、売上高は前期比28億円増の60億円を見込み、引き続き、持続可能な社会の実現をめざしていく。

※2021.3期より、“オーニング製品”を「エコ＆防災事業」に含んでいます。

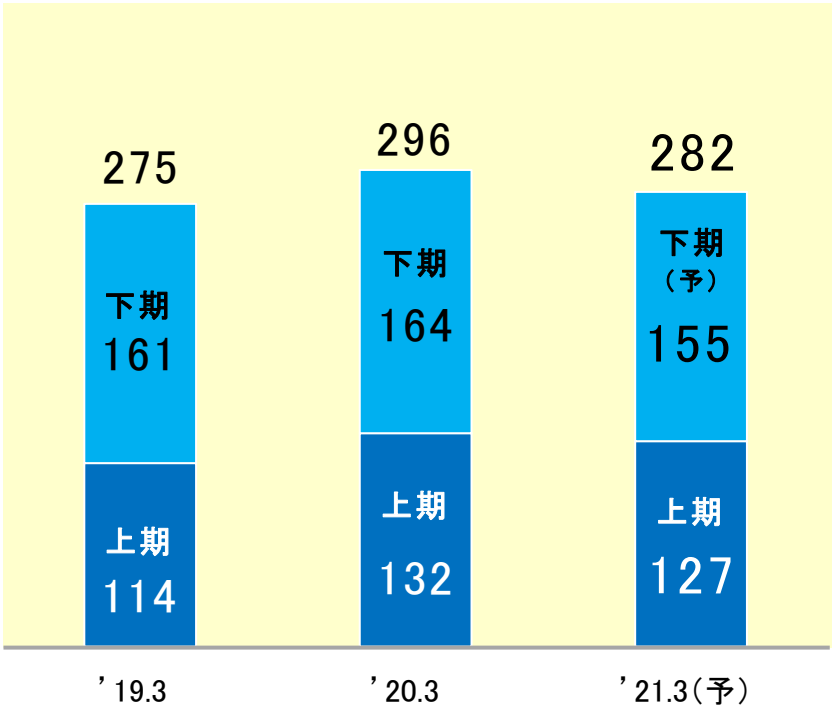




夏場のエアコン稼働率を大幅に減少させる「オーニング」と、100%リサイクル素材の再生複合材「テクモク・デッキ」の施工事例（左）
急な増水時にも簡単＆スピーディーに設置できるBX止水板「ラクセット」（右）

注力事業の強化②　メンテナンス事業の強化

「メンテナンス事業」売上高（億円）



◆メンテナンス事業（※）

・上期は、新型コロナウイルス感染症による保守点検の延期や是正工事の減少に加え、法定点検における競争激化が影響し、売上高は前年同期比5億円減の127億円。

・通期は、下期に延期された保守点検の確実な対応と、当社グループの総合力を武器とした法定点検の対応強化を推し進めることで、売上高は前期比14億円減の282億円を見込む。

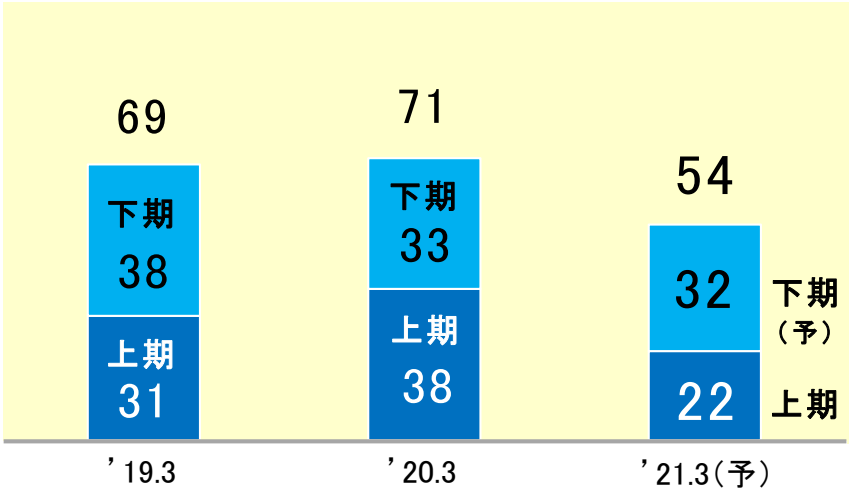
※メンテナンス事業は、修理･保守点検に伴う製品一式の取り替え分を反映させていることなどにより、セグメント区分の「サービス事業」とは差異が生じます。



防火シャッターの法定点検のイメージ

注力事業の強化③　ロングライフ事業の強化

「ロングライフ事業」売上高（億円）





リフォーム相談会のチラシ広告(左)と相談会の様子（※）
※ リフォーム相談会は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底の上で実施しています。

◆ロングライフ事業(※)

・上期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事の延期や対面営業活動の自粛、商談機会の減少など、主に住宅リフォーム事業が苦戦した結果、売上高は前年同期比16億円減の22億円。

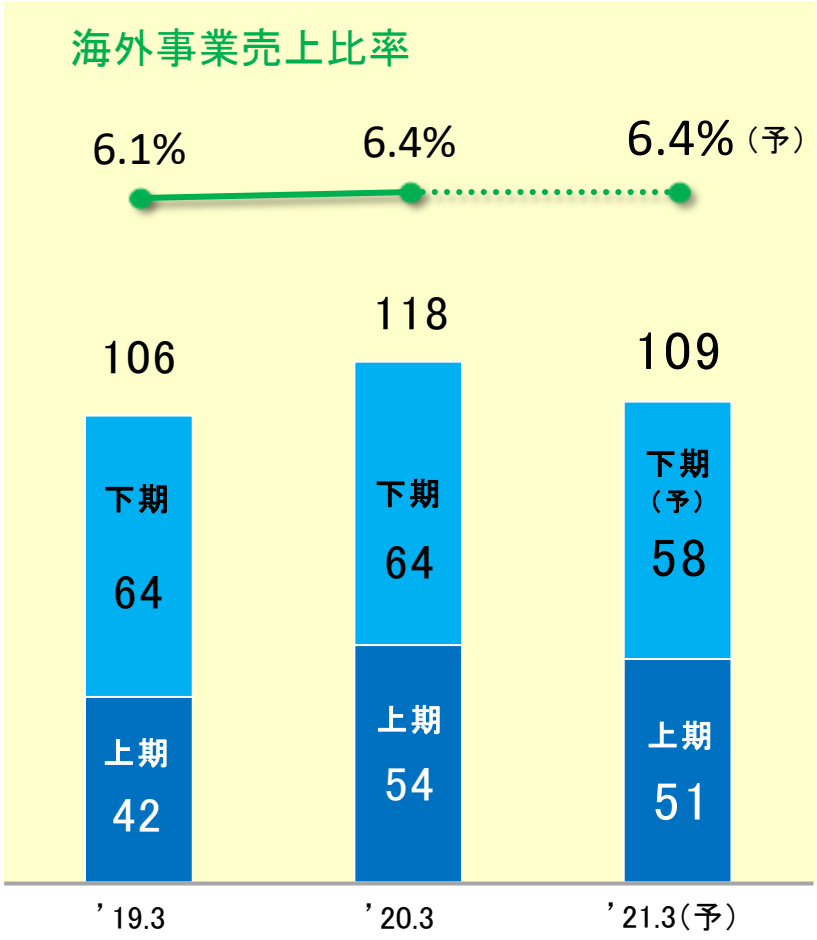
・通期は、住宅リフォーム事業については新型コロナウイルス感染対策を万全にしたリフォーム相談会の定期的な開催に注力する。
ビルリニューアル事業は、引き続き「耐震」「浸水対策」をキーワードに、元請け対応を強化する。

以上により、売上高は前期比17億円減の54億円を見込む。

※ロングライフ事業は、セグメント区分の「リフォーム事業」と同じ内容です。

注力事業の強化④　海外事業の強化

「海外事業」売上高（億円）



◆海外事業

・上期は、ベトナムとオーストラリア共に新型コロナウイルス感染症による営業活動自粛、現場遅延が影響し、売上高は前年同期比3億円減の51億円。

・通期はロックダウンの解除に伴い、海外市場は徐々に動き出すことが予想されるものの、スピードは緩やかで、感染再拡大の懸念もある中、売上高は前期比9億円減の109億円を見込む。



BX BUNKA VIETNAMの展示室でお客様向けにPRしている高速シートシャッター「大間迅」（左）とアルミシャッター



オーストラリアで採用された住宅向けガレージドア(上)と商業向けカウンターウェイトドア

トピックス

トピックス　新商品

◆新 商 品

大型台風対策に最適な“高耐風圧仕様”の「ウインドブロックシリーズ」



9月11日より全国発売開始

「ウインドブロックシリーズ」（左から重量シャッター、オーバースライディングドア、窓シャッター「マドマスターシリーズ」）

幅広い建物用途に対応した大臣認定品“遮煙性能”を有した鋼製軽量引戸



11月13日より全国発売開始

カームスライダー「遮煙防火設備タイプ」

設置範囲を拡大した大臣認定品 耐熱強化ガラス入り特定防火設備



10月28日より全国発売開始

「エリファイトクリア・スチールタイプ」

震度7クラスの地震でも機能する学校用間仕切



7月1日より全国発売開始

地震動対策化した「学校用間仕切プレウォールシリーズ」

“プライバシー保護”と新型コロナウイルスの“飛沫感染対策”商品



10月21日より全国発売開始

「避難所用間仕切パッケージ　ワイドタイプ」

参考資料

文化シヤッターグループ概要

■経営理念　「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」

■概　　要　文化シヤッター株式会社及び連結子会社25社（2020年9月末現在）

■事　　業　シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他

■拠　　点　343営業拠点　132サービス拠点　33工場（2020年9月末現在）

■従業員数　4，825名（2020年9月末現在）

【文化シヤッター株式会社（単体）】
代表者　代表取締役社長　執行役員社長　潮崎　敏彦
設　立　1955年（昭和30年）4月18日
資本金　15，051百万円
本　社　東京都文京区西片1－17－3

文化シヤッターグループの会社構成と海外事業展開

BX GROUP

文　化　シ　ヤ　ッ　タ　ー　（株）

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売
- BX新生精機（株）
- BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.

「オーニング」製造・販売
- BXテンパル（株）

「シャッター」製造・販売
- BX沖縄文化シヤッター（株）

「シャッター」販売
- 文化シヤッター秋田販売（株）
- 文化シヤッター高岡販売（株）（※2）

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造
- BX文化パネル（株）

「ドア」製造
- BXケンセイ（株）
- BX鐵矢（株）
- BX東北鐵矢（株）
- BX朝日建材（株）
- BXルーテス（株）

「建築金物」製造・販売
- BXカネシン（株）

「ドア」「スライディングウォール」「注文家具」製造・販売
- BXティアール（株）

「ステンレス建材」製造・販売
- BX紅雲（株）

「建築材料」製造・販売
- BX西山鉄網（株）

「環境建材（再生複合材）」製造・販売
- （株）エコウッド

サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」
- 文化シヤッターサービス（株）

リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」
- BXゆとりフォーム（株）

その他事業

「損害保険代理業」
- BXあいわ（株）

「建築構造設計」
- BX TOSHO（株）

海外事業展開

＜ＡＳＥＡＮ・ベトナム＞

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売
- BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

「電動開閉機」製造・販売
- BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売
- EUROWINDOW., JSC （※1）

＜オセアニア・オーストラリア＞

「ガレージドア」「シャッター」製造・販売・施工・アフターメンテナンス
- BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD
  - Steel -Line Garage Doors Australia
  - Steel -Line Installations Australia
  - Steel -Line Garage Doors（WA）
  - Dynamic Door Service
  - ARCO(QLD) PTY LTD

その他

「ビル用サッシ他」製造・販売
- 不二サッシ（株）グループ （※1）

※1　関連会社で持分法適用会社

※2　関連会社で持分法非適用会社

連結貸借対照表

（単位：百万円、%）

	2020年3月期	構成比	2021年3月期上期	構成比	増減	前期末比
流動資産	96,144	58.0	90,233	56.5	△ 5,911	93.9
現金・預金	25,727	15.5	31,880	20.0	6,153	123.9
受取手形・売掛金	46,640	28.1	32,414	20.3	△ 14,226	69.5
たな卸資産	19,685	11.9	21,606	13.5	1,921	109.8
その他	4,091	2.5	4,331	2.7	240	105.9
固定資産	69,729	42.0	69,477	43.5	△ 252	99.6
土地	12,475	7.5	12,475	7.8	0	100.0
投資有価証券	16,998	10.2	17,117	10.7	119	100.7
その他の投資・資産	2,526	1.5	2,684	1.7	158	106.3
その他	37,730	22.8	37,201	23.3	△ 529	98.6
資産合計	165,874	100.0	159,710	100.0	△ 6,164	96.3
流動負債	54,811	33.0	47,845	29.9	△ 6,966	87.3
支払手形・買掛金	33,703	20.3	26,956	16.9	△ 6,747	80.0
短期借入金	2,284	1.4	1,982	1.2	△ 302	86.8
その他	18,824	11.3	18,907	11.8	83	100.4
固定負債	33,905	20.5	34,102	21.4	197	100.6
転換社債型新株予約権付社債	10,000	6.0	10,000	6.3	0	100.0
長期借入金	266	0.2	141	0.1	△ 125	53.0
退職給付に係る負債	19,023	11.5	19,126	12.0	103	100.5
その他	4,616	2.8	4,835	3.0	219	104.7
負債合計	88,717	53.5	81,947	51.3	△ 6,770	92.4
純資産合計	77,157	46.5	77,762	48.7	605	100.8
負債・純資産合計	165,874	100.0	159,710	100.0	△ 6,164	96.3

1株当たり純資産	1,073円97銭	1,082円34銭
期末株価	785円	833円
PBR（株価純資産倍率）	0.73	0.77

連結キャッシュフロー計算書

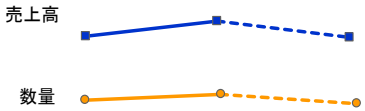
（単位：百万円）

	2020年3月期上期	2021年3月期上期	増減
1．営業活動によるキャッシュ・フロー	5,077	9,552	4,475
税金等調整前当期純利益	2,780	3,398	618
減価償却費	1,706	1,859	153
売上債権の増減額（△は増加）	8,679	14,175	5,496
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 1,359	△ 6,382	△ 5,023
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 4,520	△ 1,952	2,568
法人税等の支払額	△ 2,784	△ 1,809	975
その他	575	263	△ 312
2．投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,997	△ 1,253	744
投資有価証券の取得による支出	△ 10	△ 13	△ 3
有形固定資産の売却による収入	11	5	△ 6
有形固定資産の取得による支出	△ 897	△ 1,179	△ 282
無形固定資産の取得による支出	△ 665	△ 439	226
その他	△ 436	373	809
3．財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,651	△ 1,762	889
短期借入金の純増減額（△は減少）	△0	200	200
長期借入金の返済による支出	△ 1,143	△ 626	517
配当金の支払額	△ 1,075	△ 896	179
その他	△ 433	△ 440	△ 7
4．現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	413	6,505	6,092
5．現金及び現金同等物の期首残高	22,620	24,393	1,773
6．現金及び現金同等物の期末残高	23,095	30,898	7,803

シャッター関連製品の状況（単体）

BX GROUP

＜重量シャッター＞



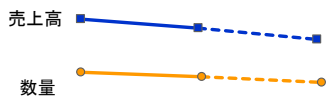
	'19.3	'20.3	'21.3予
売上高（百万円）	16,886	18,150	*16,800*
数量（千㎡）	383	412	*370*
数量シェア	33.3%	35.7%	–

※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- 上期の売上高は、前年同期比11.8%減。
- 21.3期の売上高は、前期比7.4%減の168億円を計画。

＜軽量シャッター＞



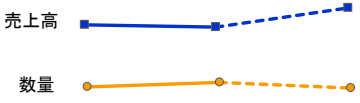
	'19.3	'20.3	'21.3予
売上高（百万円）	18,179	17,382	*16,400*
数量（千㎡）	950	887	*818*
電動化率	33.8%	35.5%	*35.9%*
数量シェア	40.0%	41.8%	–

※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- 上期の売上高は、前年同期比5.0%減。
- 21.3期の売上高は、前期比5.7%減の164億円を計画。

＜窓シャッター＞



	'19.3	'20.3	'21.3予
売上高（百万円）	4,972	4,945	*5,200*
数量（千㎡）	110	122	*106*
電動化率	30.4%	30.2%	*33.1%*



- 上期の売上高は、前年同期比4.8%増。
- 21.3期の売上高は、前期比5.1%増の52億円を計画。

建材関連製品の状況（単体）

BX GROUP

＜ドア＞



	'19.3	'20.3	'21.3予
売上高（百万円）	35,085	39,076	*36,300*



- 上期の売上高は、前年同期比8.8%増。
- 21.3期の売上高は、前期比7.1%減の363億円を計画。

＜パーティション＞



	'19.3	'20.3	'21.3予
売上高（百万円）	7,718	7,445	*6,000*



- 上期の売上高は、前年同期比23.2%減。
- 21.3期の売上高は、前期比19.4%減の60億円を計画。

＜エクステリア＞



	'19.3	'20.3	'21.3予
売上高（百万円）	8,536	7,764	*6,700*

※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- 上期の売上高は、前年同期比15.0%減。
- 20.3期の売上高は、前期比13.7%減の67億円を計画。

持続可能な社会の実現をめざして～ＳＤＧｓの理念と連動した事業を推進中～

BX GROUP

文化シヤッターグループは、ＳＤＧｓの理念と連動し、「エコ＆防災」をキーワードとした事業を中心に、“持続可能な社会の実現”をめざす取り組みを継続して推し進めます！

ＳＤＧｓの目標に合致するＢＸグループが進める事業の代表例

エコ事業

「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に当てはまる
「テクモク」、BXテンバルのオーニング「エルバーネ」




防災事業

「住み続けられるまちづくりを」に当てはまる
「軽量シャッター」「窓シャッター」




サービス事業

「つくる責任つかう責任」に当てはまる
文化シヤッターサービスの修理・保守点検




止水事業（防災）

「気候変動に具体的な対策を」に当てはまる
止水商品の「止めピタ」「ラクセット」




成長と共に



止水事業の推進に向けた取り組みの一例。写真は4種類の止水商品を出展した「2019防災産業展in東京」（2019年6月5日～7日・東京ビッグサイト）

社会と共に



被災地の産業支援と支援の環を広げる取り組みの一例。写真は「BXマルシェ東北うまいものフェア」（2019年10月11日・BXホール）

地球と共に



木材・プラスチック再生複合材「テクモク」とオーニングが採用された神奈川県中井パーキングエリアの商業施設

働く仲間と共に



人材育成を大切にする企業風土が受け継がれる中、様々な研修制度を実施。写真は海外派遣制度報告会（2019年2月14日・BXビル）

問い合わせ

問い合わせ先

文化シヤッター株式会社　経営企画部広報室　曽根、小林
TEL03-5844-7150　FAX03-5844-7141
E-mail　bxinfo@mail.bunka-s.co.jp
https://www.bunka-s.co.jp/